

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	460	課コード	1706	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 乳幼児健康相談 個別事業 発達支援に関する専門職員の派遣	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	子ども部・子ども発達センター			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.5人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 3,960千円	当該(開始)年度	(当初) 4,350千円 (うち人件費 4,350千円)	(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33106	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	健康福祉総合計画・子ども総合
(2) 目的	施策目的・展開方向	発達に支援が必要な子どもに対しては、児童発達支援センターの機能を有する子ども発達センターにおいて、相談・訓練・通所支援を行って発達を促すとともに、子どもの保護者に対する支援を行います。また、民間事業所や保育園、幼稚園に対する発達支援のノウハウの提供や保護者向けの学習会の開催などを通じて、			事業目的	発達に支援が必要な子どもを早期発見に努め、早期療育につながるよう支援を行う。また、子どもの発達や子育てをめぐる問題に関して、保護者が安心して地域で子育て出来るように支援する。また、保健師の資質の向上も支援する。				
(3) 事業内容	内容	①1歳6か月児健診、3歳児健診時に発達や育児、親子関係など専門的な相談が必要であると保健師が判断した保護者に対して実施する。1歳6か月児健診には、心理相談員と理学療法士を派遣。3歳児健診には、心理相談員と言語聴覚士を派遣。 ②5歳児健診時に保護者の希望により実施する。5歳児健診には、心理相談員を派遣。また心理相談員と保育士で5歳児未就園児に対して集団で行動観察する。 ③1歳6か月時健診、3歳児健診、5歳児健診、保健師の訪問相談及び電話相談後の事後相談として子育て相談を実施する。子育て相談には、心理相談員を派遣。 ④健診や子育て相談の事後カンファレンスに参加し、保健師の相談の資質の向上を図る。			当該年度執行計画	①月2~3回木曜日の午後 ②月1回木曜日もしくは火曜日の午後 ③月2回月曜日				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	件	想定値	390
当該年度	地域で安心して、子どもの発達状況に応じた子育てができる保護者が増加する。			直接	相談実施件数		件		実績値	386
令和3年度	地域で安心して、子どもの発達状況に応じた子育てができる保護者が増加する。			直接	相談実施件数		件			390
令和4年度	地域で安心して、子どもの発達状況に応じた子育てができる保護者が増加する。			直接	相談実施件数		件			390
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	子育て能力の低下、育児環境の変化が指摘されている現在、子どもの健やかな成長・発達を促すためには、保護者の育児能力の向上や情緒の安定が必要不可欠である。よって、心理相談員、理学療法士、言語聴覚士による相談を実施することで子どもの発達や子育てをめぐる環境に対して保護者の不安を軽減させ、子どもの心身の発達を促すことが必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 事業にそぐわない				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ○③手賀沼を意識している ○④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 事業にそぐわない				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (件)	目標値(b) (件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	386	390	○①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない ○③現況値との差が小さい値ではない ○④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	○①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 ○②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 ○③維持管理費の削減策の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦その他 ○④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
△9.85									
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	8.97	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (462), 課コード (1706), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (463), 課コード (1706), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	465	課コード	1706	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 早期発見・早期療育 個別事業 理学療法士による相談・訓練	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	子ども部・こども発達センター			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.4人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	当(初)	3,667千円 (うち人件費 3,480千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33106	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名) 健康福祉総合計画・子ども総合	
(2) 目的	施策目的・展開方向	発達に支援が必要な子どもに対しては、児童発達支援センターの機能を有するこども発達センターにおいて、相談・訓練・通所支援を行って発達を促すとともに、子どもの保護者に対する支援を行います。また、民間事業所や保育園、幼稚園に対する発達支援のノウハウの提供や保護者向けの学習会の開催を通じて、こども発達センターの処遇会議により理学療法が必要と判断された児童を対象に個別訓練を実施します。理学療法士が概ね月1回から4回の頻度で個別の訓練・指導を行います。○補装具や日常生活用具についての相談を受けます。来所相談を基本とし、事前予約にて対応します。○身体についてを中心に発達全般について相談を実施しています。○心理相談員と集団療育を実施します。			事業目的	主に運動発達の遅れ、心配のある子どもに対して、個々の発達課題や現在、将来にわたる生活を考慮した指導、援助を行います。また、保護者の相談にのり、子育て支援をします。				
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	月曜日～金曜日、午前9時～午後5時に実施。 ○個別訓練は対象児童に定期的に行うために、事前に日程調整を行う。 ・1回の指導時間 50分 ○補装具相談は随時、予約にて実施。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				当該年度活動結果指標	理学療法訓練を要する児童に理学療法訓練を提供できた割合(%)	単位	%	想定値 100	
(4) 達成目標(期待する成果)	当該年度	必要な子どもとその家族に必要な相談・訓練を行う。			指標種類	直接	指標	単位	(5) 現況値 100 (6) 目標値 100	
	令和3年度	必要な子どもとその家族に必要な相談・訓練を行う。			直接	実施率	%		100	
	令和4年度	必要な子どもとその家族に必要な相談・訓練を行う。			直接	実施率	%		100	
	令和5年度	必要な子どもとその家族に必要な相談・訓練を行う。			直接	実施率	%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		研修旅費	7	普通旅費	17	普通旅費	17	普通旅費	17	
		消耗品	77	研修旅費	6	研修旅費	6	研修旅費	6	
		修繕料	78	消耗品	5	消耗品	5	消耗品	5	
備品購入費	57	修繕料	159	修繕料	159	修繕料	159			
予算(決算)額	合計 219		合計 187		合計 187		合計 187			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		114		82		82		82	
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	105	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	105	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	105	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	105		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.4		0.4		0.4		0.4		
	正職員人件費	3,520		3,480		3,480		3,480		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	3,739		3,667		3,667		3,667			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	37.39千円/%		36.67千円/%							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子市には運動発達に遅れを持つ子どもが、継続的に安心して受診し、障害についてや将来の生活について相談できる医療機関がなく、こども発達センターが部分的にその役割を担っています。このような状況で理学療法士の指導・援助を引き続き行っていくことは、必要なことと考えます。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービスの水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 事業にそぐわない				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	環境に配慮して事業を進めているか？		○①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容> 再生紙の利用、節電等、エコに心掛けている				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要		
	100	100	○①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない ○③現況値との差が小さい値ではない ○④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 ○②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 ○③維持管理費の削減策の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦その他 ○④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>			
事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>						
1.93										
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	2.73	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				
10万円										

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	466	課コード	1706	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 早期発見・早期療育 個別事業 保育所等訪問支援事業所「おひさま」による発達支援	実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	子ども部・子ども発達センター				
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.4人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	3,561千円 (うち人件費 3,480千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33106	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)	健康福祉総合計画・子ども総合	
(2) 目的	施策目的・展開方向	発達に支援が必要な子どもに対しては、児童発達支援センターの機能を有する子ども発達センターにおいて、相談・訓練・通所支援を行って発達を促すとともに、子どもの保護者に対する支援を行います。また、民間事業所や保育園、幼稚園に対する発達支援のノウハウの提供や保護者向けの学習会の開催などを通じて、子ども発達センターを利用し、その後、保育園、幼稚園に就園した子どもについて、集団生活に適応し、健やかに過ごしていけるように、移行支援として保育所等訪問支援を行います。当該事業は、生活の場で直接子どもへの支援を実施します。子ども発達センターの専門職員（保育士、心理相談員、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、社会福祉士）と協働し、児童の発達を支援します。			事業目的	ひまわり園を利用している子どもが、サービス等利用計画に基づき、地域の中で他の児童とともに育ちあえることを目的とし、実施内容については児童発達支援計画を作成し実施します。					
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	子どもが入園した保育園、幼稚園と日程調整を行い、子ども発達センターの専門職員が4月～翌年3月までの期間、対象予定児童数1名に対し、最大月2回訪問します。					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	%	想定値	100	
当該年度	保育園、幼稚園の集団生活の中で必要とされる発達支援を行う。			直接	実施率		%		実績値	100	
令和3年度	保育園、幼稚園の集団生活の中で必要とされる発達支援を行う。			直接	実施率		%			100	
令和4年度	保育園、幼稚園の集団生活の中で必要とされる発達支援を行う。			直接	実施率		%			100	
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
(8) 施行事項	平成31年度		令和2年度				令和3年度		令和4年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		消耗品費 燃料費 手数料 修繕料	48 67 16 10		研修旅費 消耗品	8 73				研修旅費 消耗品	8 73
		合計	141		合計	81				合計	81
		予算(決算)額									
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	
	一般財源		△184		△244		△244		△244	△244	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	325	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	325	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	325	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	325	325	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.6		0.4		0.6		0.6	0.6	
	正職員人件費		5,280		3,480		5,220		5,220	5,220	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		5,421		3,561		5,301		5,301	5,301	
(11) 単位数費用 (事業費/活動結果指標)	54.21千円/%		35.61千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	発達に支援が必要な子どもに対して、保育所等を訪問し、集団生活への適応のために子どもに対して直接的な支援を行う。社会適応を促すことで、健全な発達を補償することができる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ○不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要		
	100	100	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	2.81		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (469), 課コード (1706), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Footer table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (現状どおり推進, 拡充, etc.)

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (472), 課コード (1706), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

Summary table with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1410), 課コード (1706), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1722	課コード	1706	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)									
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 早期発見・早期療育 個別事業 作業療法士による相談・訓練	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	子ども部・子ども発達センター		
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.8人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 11,483千円 (うち人件費 6,960千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33106	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 部門別計画への位置づけ (計画名) 健康福祉総合計画・子ども総合		
(2) 目的	施策目的・展開方向	発達に支援が必要な子どもに対しては、児童発達支援センターの機能を有する子ども発達センターにおいて、相談・訓練・通所支援を行って発達を促すとともに、子どもの保護者に対する支援を行います。また、民間事業所や保育園、幼稚園に対する発達支援のノウハウの提供や保護者向けの学習会の開催などを通じて、作業療法訓練が必要と認められた児童を対象に、作業療法士が概ね月1回の頻度で個別訓練・集団訓練・指導・相談を行います。また随時、幼稚園・保育園・学校など地域への相談・指導も行うことで、地域支援も行います。保護者の相談を行い、健やかな親子関係の構築を行います。			事業目的	粗大運動や巧緻運動発達・ADL・コミュニケーションなど様々な面の発達支援を行います。それらの中で、現在・将来に渡る生活を考慮した指導や相談・援助を対象者及びその対象者に関係する方々へ行います。保護者の相談にのり、子育て支援を行います。			
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	対象児童への個別訓練、集団訓練を定期的に行うため、また評価・相談を行うために、担当者が事前に日程調整を行う。 ・実施時間…月曜日～金曜日、午前9時から午後5時。 ・訓練時間…50分(1回あたり)			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				当該年度活動結果指標	作業療法訓練を要する児童に作業療法訓練を提供できた割合(%)	単位	%	想定値 100 実績値
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		嘱託職員報酬(作業療法士)1名	4,237	パート会計年度報酬(作業療法士)(2)	3,667	パート会計年度報酬(作業療法士)(2)	3,667	パート会計年度報酬(作業療法士)(2)	3,667
		共済費(社会保険料・雇用保険料)	741	パート会計年度職員手当(作業療法士)	197	パート会計年度職員手当(作業療法士)	197	パート会計年度職員手当(作業療法士)	197
		費用弁償(交通費)	77	パート会計年度社会保険料(作業療法士)	506	パート会計年度社会保険料(作業療法士)	506	パート会計年度社会保険料(作業療法士)	506
研修旅費	9	パート会計年度費用弁償(作業療法士)	142	パート会計年度費用弁償(作業療法士)	142	パート会計年度費用弁償(作業療法士)	142		
消耗品費	76	研修旅費	6	研修旅費	6	研修旅費	6		
		消耗品費	5	消耗品費	5	消耗品費	5		
予算(決算)額	合計	5,140	合計	4,523	合計	4,523	合計	4,523	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0
	一般財源		1,990		1,373		1,373		1,373
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 ■その他	3,150	□特会 □受益 □基金 ■その他	3,150	□特会 □受益 □基金 ■その他	3,150	□特会 □受益 □基金 ■その他	3,150
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.85		0.85		0.85		0.85
	正職員人件費		7,480		6,960		7,395		7,395
	嘱託職員報酬額		5,055		0		0		0
	臨時職員賃金額		0		0		0		0
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		12,620		11,483		11,918		11,918
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		126.2千円/%		114.83千円/%					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討
	発達に支援が必要な子どもが、継続的に安心して受診し、障害についてや将来の生活について相談できる医療機関はなく、子ども発達センターが部分的にその役割を担っています。また、明らかな原因疾患の無い場合で、運動の協調性などに問題のある子どもに対しても指導・相談・援助する機関は子ども発達センターしかありません。幼稚園・保育園・学校などに対して指導・相談・援助などの地域支援の役割も担っています。このような状況で作業療法士の指導・相談・援助を引き続き行っていくことは、必要と考えます。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 事業にそぐわない								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 再生紙の利用、節電等、エコに心掛ける								○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 ■⑦その他 □④民間委託			実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	事業費削減率(%)		<削減の内容>			<超過理由等>			
9.01									
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	0.87	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
		% 10万円							

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1789	課コード	1706	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 療育・教育システムの充実	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	子ども部・子ども発達センター		
	③事業主体	個別事業 ライフダイアリー普及事業	④対象地区		○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成23年度 ~		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.25人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	2,664千円 (うち人件費 2,175千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33106	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	発達に支援が必要な子どもに対しては、児童発達支援センターの機能を有する子ども発達センターにおいて、相談・訓練・通所支援を行って発達を促すとともに、子どもの保護者に対する支援を行います。また、民間事業所や保育園、幼稚園に対する発達支援のノウハウの提供や保護者向けの学習会の開催などを通じて、子どもに関する基本的情報のほか、各様式に記載できる成長の記録や医療・福祉・療育・教育機関が作成した情報を綴るライフダイアリーを希望する対象児とその保護者に配布します。また、子どもの成長の記録を綴りこむことができる、子育て支援ツールの一つとして周知を図り、現時点での支援の必要性の有無にかかわらず、広く配布を行います。ライフダイアリーは保護者の下で保存・管理していただき、その記録を活用し家庭及び関係機関との情報共有を円滑かつ正確に行うことができるように支援します。				事業目的	子どもが成長する段階で関わる機関や支援者から一貫した支援を継続して受けられるようにするため、子どもに関する情報を綴る「ライフダイアリー」を保護者に配布し、情報伝達ツールとして活用できるように支援する。			
(3) 事業内容	内容					当該年度執行計画	・療育教育システム連絡会ライフダイアリー部会を開催し、普及方法を検討する。 ・ライフダイアリー作成…500冊 ・小学校就学時健康診断でのライフダイアリーのチラシを配布する。			
						当該年度活動結果指標	現年度新生児への全員配布及び転入者のうちの希望者	単位	人	想定値
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	一般の子育てや支援の必要な子どもの、成長・発達状況など、育ちについての情報の伝達が円滑かつ正確に行われる。				直接	ライフダイアリーの配布数		人	941	1,000
令和3年度	支援の必要な子どもについての、情報の伝達が円滑かつ正確に行われる。				直接	ライフダイアリーの配布数		人		1,000
令和4年度	支援の必要な子どもについての、情報の伝達が円滑かつ正確に行われる。				直接	ライフダイアリーの配布数		人		1,000
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			ライフダイアリー消耗品 印刷製本費	149 45		ライフダイアリー消耗品 印刷製本費	463 26		ライフダイアリー消耗品 印刷製本費	463 26
		予算(決算)額	合計	194	合計	489	合計	489	合計	489
		(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%
(10) 人件費等	正職員人件費	1,320	2,175	1,305	1,305					
	嘱託職員報酬額	0	0	0	0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		1,514	2,664	1,794	1,794					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		1.36千円/人	2.66千円/人							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	支援を必要とする子どもが、ライフステージごとに支援の担い手が変わる移行期に、一貫した支援が継続される方策の確立は療育・教育システム連絡会においても、千葉県においても早急に整えることが求められている。また、児童福祉法の改正に伴い、障害の有無にかかわらず「気になる子」への支援も求められている。ライフダイアリーが普及することにより保護者が主体となって情報を管理し、支援を必要とした時に各支援機関への情報提供が容易となり、支援が必要な子どもが安定した社会生活を送るための一助となると考えられる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		●①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ●③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 事業にそぐわない				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 再生紙の利用、節電等、エコを心掛ける				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	941	1,000	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 ■⑦その他		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<超過理由等>		○要 ○不要
	2,664	△1,150	<削減の内容>						○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	37.54	人	費用単位	10万円	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (1914), 課コード (1706), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2018	課コード	1706	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし					
1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 早期発見・早期療育 個別事業 相談支援事業所「なの花」の相談支援専門員による児童支援利用計画の作成			実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	子ども部・子ども発達センター					
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		1.1人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	15,292千円 (うち人件費 9,570千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33106		重点プロジェクトへの位置づけ	重点4		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	健康福祉総合計画・子ども総合		
(2) 目的	施策目的・展開方向	発達に支援が必要な子どもに対しては、児童発達支援センターの機能を有する子ども発達センターにおいて、相談・訓練・通所支援を行って発達を促すとともに、子どもの保護者に対する支援を行います。また、民間事業所や保育園、幼稚園に対する発達支援のノウハウの提供や保護者向けの学習会の開催などを通じて、支援が必要な子供やその家族に対して、継続的及び計画的にサービスを利用できるよう児童支援利用計画の作成、サービス調整を行う。			事業目的	計画的なサービス利用を行うため、児童支援利用計画の作成、事業所や関係機関とのサービス調整などを行う。								
(3) 事業内容	内容	児童または児童の家庭からの相談に応じ、基本相談支援を行う。児童支援利用計画が適切であるかどうかにつき、見直しを行う。			当該年度執行計画	相談支援の充実を図る。								
		当該年度活動結果指標	児童支援利用計画書の作成数。		単位	件	想定値	550						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	児童支援利用計画に沿って支援していく。			間接	児童支援利用計画の作成数。		件	537	550					
令和3年度	児童支援利用計画に沿って支援していく。			間接	児童支援利用計画の作成数。		件		560					
令和4年度	児童支援利用計画に沿って支援していく。			間接	児童支援利用計画の作成数。		件		570					
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		3号嘱託職員報酬2名	5,228	パート会計年度報酬(その他専門)(2)	4,284	パート会計年度報酬(その他専門)(2)	4,284	パート会計年度報酬(その他専門)(2)	4,284	パート会計年度報酬(その他専門)(2)	4,284	パート会計年度報酬(その他専門)(2)	4,284	
		共済費(社会保険料・雇用保険料)	904	パート会計年度職員手当(その他専門)	299	パート会計年度職員手当(その他専門)	299	パート会計年度職員手当(その他専門)	299	パート会計年度職員手当(その他専門)	299	パート会計年度職員手当(その他専門)	299	
		費用弁償(交通費)	206	パート会計年度社会保険料(その他専門)	768	パート会計年度社会保険料(その他専門)	768	パート会計年度社会保険料(その他専門)	768	パート会計年度社会保険料(その他専門)	768	パート会計年度社会保険料(その他専門)	768	
研修旅費	29	パート会計年度費用弁償(その他専門)	185	パート会計年度費用弁償(その他専門)	185	パート会計年度費用弁償(その他専門)	185	パート会計年度費用弁償(その他専門)	185	パート会計年度費用弁償(その他専門)	185			
消耗品費	5	研修旅費	9	研修旅費	9	研修旅費	9	研修旅費	9	研修旅費	9			
燃料費	65	消耗品	5	消耗品	5	消耗品	5	消耗品	5	消耗品	5			
駐車場使用料	2	燃料費	67	燃料費	67	燃料費	67	燃料費	67	燃料費	67			
修繕料	10	修繕料	30	修繕料	30	修繕料	30	修繕料	30	修繕料	30			
手数料	23	手数料	37	手数料	37	手数料	37	手数料	37	手数料	37			
自動車損害保険		自動車損害保険	26	自動車損害保険	26	自動車損害保険	26	自動車損害保険	26	自動車損害保険	26			
		駐車場使用料	5	駐車場使用料	5	駐車場使用料	5	駐車場使用料	5	駐車場使用料	5			
		自動車重量税	7	自動車重量税	7	自動車重量税	7	自動車重量税	7	自動車重量税	7			
予算(決算)額	合計	6,472	合計	5,722	合計	5,722	合計	5,722	合計	5,722				
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%			
	一般財源		△1,358		△2,108		△2,108		△2,108		△2,108			
その他の財源	□特会 □受益 □基金 ■その他	7,830	□特会 □受益 □基金 ■その他	7,830	□特会 □受益 □基金 ■その他	7,830	□特会 □受益 □基金 ■その他	7,830	□特会 □受益 □基金 ■その他	7,830				
(10) 人件費等	換算人数(人)	1.1		1.1		1.1		1.1						
	正職員人件費	9,680		9,570		9,570		9,570						
	嘱託職員報酬額	6,339		0		0		0						
	臨時職員賃金額	0		0		0		0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	16,152		15,292		15,292		15,292							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	27.85千円/件		27.8千円/件											
2. 事業の評価 (DO+CHECK)														
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討					
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	発達に支援が必要な児童とその保護者に対して、児童支援利用計画を作成できるノウハウを持つ事業所は少なく、子ども発達センターが中心となり、保護者の主訴を把握し、その主訴に合った計画を作成する必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要					
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要					
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 事業にそぐわない						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要					
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要					
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 再生紙の利用、節電等、エコを心掛ける						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要					
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要					
	537	550	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要					
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要					
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 ■⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要					
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				○要 ○不要					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>					
	3.6	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100				○要 ○不要					
3. 事後評価														
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)														
評価	評価コメント				改善策及び展開方向									

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2101), 課コード (1706), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2138), 課コード (1706), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進) and a space for comments.